

ワシントン DC 国際交流会での説法

李洪志

二〇〇一年七月二十一日

皆さん、こんにちは！ 皆さん、ご苦労様でした！

修煉について、皆さんは現在、その難しさを感じていると思います。難しいからこそ、修煉して成就することができるのです。歴史上、多く的人是道を求め、みな修煉したいと思い、圓滿成就しようと思い、人間の輪廻と生死から超越しようと思いましたが、これらはみな大変難しかったのです。もし困難に満ちた修煉の中で、常人社会で生じた各種の心を取り除かなければ、絶対、圓滿成就できません。ですから、現在のこの魔難における大法弟子の現れや、大法弟子がやり遂げたことは素晴らしいことであり、修煉者としての真実の体現です。絶対多数の弟子はこのような邪悪な環境にあって表に出て法を実証し、圓滿成就に向かうことができますが、これは本当に素晴らしいことです。

歴史上いかなる修煉方法も今日のものほど壮観ではありません。なぜならば、歴史上のどの様な修煉方法もこのように広範にわたって本当に人を済度することはできないからです。しかし、私たちが存在している歴史時期は、ただ師父が人を済度するという簡単なものではなく、宇宙天体全体で法を正している時期なのです。神たちも世のこの時期を注視しています。人類社会の歴史がある時期に到ると、天上の神まで一新され、天体まで組成し直されると世の多くの預言書は言及しました。歴史上の各種の預言や、世界に伝わっている各種の物語は、みな今日の人々が置かれている歴史時期を反映しています。要するに、今日人類社会の各種の現れは全て偶然ではありません。修煉者として、私たちが置かれたのは歴史上のまさにこの時期なのです。法を正すことと修煉において、皆さんはほぼ自分の道を正しく歩んできました。

宇宙中の生命が法から逸脱する過程で、生命は既に法の存在及び、異なる次元における生命に対する法の本当の要求が分からなくなりました。このため、今日のような法を正すという重大な出来事を前にして、衆生の多くは自分と法との関係、大法弟子との関係、私との関係を正しく扱うことができていません。実は衆生を操り、法を正

すことを左右しているその旧勢力こそ、法を正す上での本当の障害です。宇宙の生命は数え切れないほど多いのです。これほど多くの生命ですが、皆さん考えてください。法を正す中で、それぞれの生命が、もしみな彼らの悪の一面を表したならば、これほど多くの生命は法に対して極めて大きな罪を犯すことになり、淘汰されてしまいます。それでは衆生は済度されなくなるのではありませんか？ 法を正すことは無駄になってしまうのではありませんか？ ですから、私は逆に旧勢力の按排を利用しているのだと、昔話したことがあります。この邪悪勢力は上から下まで貫いて、一つの次元も漏れることなく、法を正すことを妨害しています。これはまさに各次元の生命の腐敗墮落した後の表れを集中的に現出させています。即ち、一切の生命の腐敗墮落、一切の生命が法を正す時期に表した良くない状態は、法を正すことを左右している旧勢力の系統に集中的に現れています。彼らの按排を妨害しないように、その他の各次元にいる大勢の生命は法を正すことに参与してはいけないと按排されました。これもちょうど私が望んでいることであり、それらの衆生が法に対して直接罪を犯さなければ済度され得るからです。旧勢力は自分の按排が巧みだと思っていますが、実は私に掌握されています。旧勢力の系統に参与したのはほかでもなく、まさしく宇宙に淘汰されるべき生命であり、最も悪く最も良くない生命であり、彼らにも各次元の最も良くない認識と行為が集中的に現れました。この時期にいる衆生がやりかねないことは、まさに法を正す過程で徹底的に現れてきました。従って、法を正すときに本当に取り除かなければならないのはこれらの良くない現れそのものです。旧勢力に属する生命に対しては、法を正すことを左右したり、たとえ極めて良くないことを仕出かしたとしても、再三彼らに機会を与えましたが、どうしても救いようがなくなったので、はじめて徹底的に根絶することにしました。法を正すことを妨害することに参与していない他の各次元の生命は、歴史上いくら悪くなったとしても、法を正すことに参与せず、破壊しなければ、救われる望みがあり、このような生命は絶対多数を占めています。

この事は旧勢力に妨害されるということが当初から私には分かっていました。順序のないように見えますが、実は非常に順序よく組み立てられています。この世で学習者が受けた各種の魔難と試練も、紛れもなく旧勢力に按排されたものです。学習者が耐えている難は、学習者自身の業力によるものだけではなく、人類が大法にもたらした障害でもありません。人間にはこの能力はありません。常人は修煉者の前では非常に脆弱なものです。今日の人間は、実は異なる次元の旧勢力の系統に按排された魔難を受けており、異なる次元の旧勢力に制御されているため非常に手ごわくなり、彼ら

は敢えて修煉者に手を下し、大法に対して不敬なことをしました。この中からまたもう一つの問題が現れました。この世には邪悪な徒以外に多くの無実の民がおり、彼らは天地を覆い隠すような誹謗中傷の宣伝によって欺かれました。宇宙の法理によって量ると、頭に大法は良くないという考えを入れられた人は、大法及び大法弟子に対する試練が終わるとき、淘汰されてしまいます。皆さん、考えてみてください。このような人は、危険ではありませんか？ なぜならば、彼が直接反対しているのはこの法だからです。旧勢力は、歴史のこの時期を利用して、この世で極めて邪悪な局面を作り出すため、万策を尽くして真相を伝えられる国内外の一切の宣伝媒体を封鎖しました。彼らは大法弟子に加えた迫害の中で、政治闘争から培った経験や、古今東西の全ての邪悪な手段を行使し尽く、同時にずる賢さ、腹黒さなど中国人が幾千年来形成してきたよくないものを利用して、極めて陰險な手段を採りました。ですから、弾圧当初に多くの方は虚言に欺かれました。法を正して修煉する者として、これらの無実の生命が虚言によって罪深い境地に連れ込まれ消滅されるのを見て、手をこまねいているわけにはいきません。なぜならば、この出来事が一旦終わると、次の人類の歴史が始まり、多くの良くない生命が淘汰されてしまうからです。宇宙全体はいくら巨大であっても、みな宇宙の法によって造成されたもので、各次元の生命は皆、その次元の法理に符合しており、全ての最も根本的な物質の本源までこの法によって造成されています。ある生命がこの宇宙の全ての生命を造成した法にまで反対するのであれば、その結果はどうなるのでしょうか？ 淘汰されるほかありません。大法弟子はこの時期に、法を実証しながら真相を伝えることによって、確かに大勢の世人を救いました。弟子たちは自分自身がひどく迫害されている状況下で、まだ真相を伝え、衆生を救っていますが、これは大いなる慈悲ではありませんか？ 大法弟子として、どんな環境においても衆生への慈悲を表すべきです。他の角度からいえば、大法弟子は自分自身がこのように迫害されていてもまだ衆生を救っており、更に大法弟子の偉大さを顕しています。

真相を伝えることは簡単なことではなく、単に邪悪を暴露するだけのものではありません。真相を伝えることは、つまり衆生を救うということですが、同時に皆さんの修煉における個人の向上と執着の除去、法に責任を負うこと、最後の圓滿成就に向う過程で、いかに自分の世界を豊かにするかなどの要素も含まれています。もしあなたが将来圓滿成就できる大覚者であれば、あなたの空間内、あなた自身の世界に、衆生がいなくてははいけません。ですから、修煉の過程にあって、どのようにあなたの慈悲を現し、衆生を救い済度し、あなたの世界を充実させるかという問題があります。法

を正す過程にあつて、私は旧勢力が法を正すことを左右しているのを打ち破っているのと同時に、皆さんのことを按排しています。とても邪悪で乱れているように見えますが、実はみな非常に順序よく按排されています。旧勢力は順序よく按排しましたが、私も順序よく行なっています。いずれにせよ、最終的にこれらの問題を解決する方法があります。この期間中、我々がこの機会を利用して本当に修煉者としての素晴らしく、偉大な威徳を体現できるのも、実に得難い機会です。邪悪な旧勢力が私たちに彼らを根絶する機会をどうしても与えようとするのなら、この機会を充分生かしましょう。歴史上このようなことはありませんでしたが、また、これはとても得難い事とも言えます。

修煉者にとって、邪悪の場の存在しない環境や、今日のような正なる場で生死を放棄すると口にすることは、いかなる圧力もないから、非常に気楽なものです。もし邪悪な環境、邪悪な要素が充満している環境の中で、あなたが再び法を実証し、勇気を持って表に出て邪悪を暴露することができれば、それは別のこととなります。このような環境は、非常に邪悪ではありますが、それは得難い環境でもあるのではありませんか？ 本当に得難いのです。この時期が過ぎてしまえば、二度とこのような機会は現れません。皆さんは大法弟子であるからこそ、このような機会とめぐり合えましたが、過去における一般的な修煉、或いは個人の修煉にはこのようなことはありませんでした。もちろん、歴史上、イエスや釈迦牟尼も同様に大きな魔難に遭いました。当時彼らに向かってやってきた魔難も歴史上相当邪悪なものでしたが、今日のような近代化された世論を利用して、天地を覆い隠すかのように全世界という広い範囲にわたって邪悪を生じさせることなど、今までなかったことです。邪悪の巨大さは99年の7月20日に始まったときは、天まで崩壊したかのようなようでした。中国大陸以外では大法弟子を除いて、法輪功がどんなものであるのかを知っている人は少なく、各国政府とマスコミはすべて中国大陸のマスコミから伝わってきた不実な宣伝を聞き入れました。中国政府による虚偽の宣伝を真に受けてしまったので、皆私たちに良くない印象を抱いてしまったのです。今日になってどうして皆さんは環境が楽なものになったと感じたのでしょうか？ 皆さんが真相を伝える中において、世の人々、マスコミ、各国政府に対して私たちが被っている迫害の真相を伝えること、皆さんの常人社会での善と慈悲、及び大法弟子としての正なる現れは、世の人々に認められ、神に認められたので、今日のような環境を得るに到ったのです。素晴らしい、本当に素晴らしいです。皆さんは、最も悪質で最も邪悪な徒が操っている巨大な政府と、国家宣伝機関の誹謗中傷の宣伝に耐え切ることができました。大法の進展について来られた全ての大

法弟子は、皆行なうべきことを行ないました。未だに家にこもって表に出て来ないのにまだ自分が修煉していると思っている人は、比べてみればどうしてそれが修煉と言えますか？ もちろん、人の心というものは、常人社会の中にあって異なる表れ方があるものですが、大法を学んで誤った路に入った人には放下できない執着があり、これらの執着は必ず邪悪な生命に制御され、利用されるに違いないのです。邪悪な生命は専らあなたの執着に目をつけ、それを強化し、制御できるようにするという目的を達成させ、本人は魔に利用された後に現れた邪な悟りが理に適っていると思い、法から都合の良い部分だけ取り上げて、自己弁護のための理由を探しています。

現在、法を正していること全体から見ると、宇宙天体全体の変化は非常に大きいものです。厩大な新しい宇宙天体はとてつもなく大きく、かつてないほど美しく、法を正すことは既に最終段階の最後に入りました。天体の体系は非常に厩大で、不可思議なほど厩大ですが、これほど大きな体系もやはり幾千万のこのような厩大な体系から組成されています。そうですね。その構造は私が既に常人の言葉でこれ以上言い表すことができず、表現しようがありません。まさに、そうなのです。しかし皆さんは自分を軽視しないでください。将来圓滿成就するとき、皆さんを待っているのは非常に偉大な境地であるかもしれません。(拍手)

全ての大法弟子にとって、真相を伝えることは必ずしなければならないことです。このことは皆さんにもう一回言っておきますが、あらゆる弁解、表に出たことのない人は皆間違っています。私が思うに、この魔難がいつまで続くかということにいたっては、皆さんはあまり考えない方がよいでしょう。自分が圓滿成就できるかどうかも考えないでください。あなたのいかなる心も執着になり、邪悪に利用されかねません。この念が生じた途端、邪悪があなたに偽の現象を演化するかもしれませんが、そのとき、それは一種の妨害となります。今という時間は大事に使わなければならない、この時間は弟子たちに残したものです。皆さんは、修煉し、法を正し、自らを圓滿成就に向かわせていると同時に、また衆生も救っています。これも皆さんが未来のための一切を切り開いていることになるのです。大法弟子が今日行なった全てのことは非常に重要であり、正しく歩んだ道も将来の生命の参照事例となり得るものです。それと同時に、大法弟子が今日行なった全てのことは、人類社会においても人類に未来の生存方式の基礎を築きました。ご存知のように、正見ネットに現れたのは未来の人類の新しい観念です。これらは新人類の未来の思想と正しい見識、大法弟子が法を正す期間に表した状態や慈悲、善良、純粹で正しいこと、そして大いなる忍の心を代表し、

将来の社会に影響を与えています。大法弟子がこの時期に修煉するという過程以外にも、将来、未来の人がまた法を得るという過程がありますが、このことは二段階に分けて行なっています。当初、旧勢力は、法を正す前半十年と、法がこの世を正す後半十年の、計二十年からなるように按排しました。前半十年は、師父は法を正し、大法弟子は法を正す間に修煉します。後半十年は未来の人が法を得ることになっており、それからは新しい世紀に入り、そのとき、いよいよ新しい未来が始まるのです。しかし、私がこのことを明らかにしたのは、これらの状況がみな変化したからであって、しかし変化してもたいした違いはありません。これを聞いて喜んではいけません。特によく行なっていない人は時間の緊迫性を認識しなければならず、他のどんなことも考えないでください。私たちが行なった全ては将来のために責任を負うものでなければならず、同時に未来の人は私たちが真相を伝えることによって確かに救われ、特に中国大陸以外の人々に現れた、大法への理解と支持は、彼らが法を得、未来の人類社会に入るための良い基礎を築きました。

人間は意味もなくこの世に来たのではありませんが、昔地球という環境の中には今日のこのような人類はいなかったのです。ご存知のように私はいつも宇宙人の話をしていますが、なぜ宇宙人の話をする必要があるのでしょうか？ それは宇宙人が昔の地球の環境にいる本当の人であり、彼らこそ歴史上の異なる時期、ひいては更に遙か遠い歴史においてもこの主であったからです。地球が何回取り変られても、各回の地球にいる生命、人の形象は皆異なっており、顔も違い、差異もとても大きいのですが、彼らはみなこの主でした。それではなぜ今回のわれわれ人類の形象はこのようになったのでしょうか？ 宇宙の法は将来、ここで伝えられると皆知っているので、歴史上遙か遠い昔から、将来大法が伝わるための一切の基礎を築いており、動物のようなものに法を聞かせてはならず、それは大法に対する侮辱であるので、神は自分の形象をなぞって今日の人類を造りました。西洋の宗教では、エホバが自分の形象を模倣して人間を造ったという話が知られていますが、東方の人々は女媧が自分の形象を真似て人間を造ったという話を知っています。また他の神は他の人間を造りました。昔地球という環境にいる人間を神の姿かたちで造ったら、それは神に対する侮辱であり、神に対する最大の不敬なので、この場所の人間を神の形象で造ってはなりません。今日の人類が神の形象で造られているにもかかわらず、人間の生活方式が神のものとは全く異なるため、神は人類を同類とみなすことを拒んでいます。人間の姿かたち、形象だけは神と似ています。それだけではありません。歴史上、どうして中国というところの文化と文明は他のところとあのように大きく異なっていたのでし

ようか？ あらゆる地域の国はみな国家という概念を持っており、あらゆる地域の民族の首領はみな国王という概念でしたが、中国の歴史上、国という概念はなく、王朝という形で現れており、しかも歴史上、中国の皇帝も他の国の王とはかなり異なっています。実は、これらの文化の基礎を築いたと同時に、絶えず宇宙の衆生と縁を結んでいたのです。歴史上のそれぞれの時期に異なる天国世界の衆生が中国地域に縁を結びに来ており、彼らは彼らの宇宙体系を代表しています。大法の学習者も異なる宇宙体系から来ています。異なる次元において輪廻転生するとき、それは異なる次元における生命の過程です。根本的には遥かに遠い天体に由来しています。ご存知のように、「君主が替わると臣下も替わる」という言葉がありますが、それは人間が言っていることです。それだけにとどまらず、君主が替わると臣下も替わり、天人が替わると民も文化も替わり、服飾も替わります。昔王朝が替わり時代が替わると、文化にはすぐ変化が生じ、服飾における差異も非常に大きかったのですが、これらはみな異なる次元の生命が持ってきたものであり、中国というところの文化或いは衣食住、生活方式、諸々の方面についてにまで他の地方とかなり異なっています。なぜならば、中国の文化は多くの様々な体系にいる生命が人類にもたらした文化を蓄積したものだからです。そのため、長く続くうちに、中国地域ではこれほど多くの人を収容できなくなったので、人々は縁を結んでから来世ほかの地区に転生していきます。

昔私が説いたように、世界のあらゆる国は偶然にこの世界に存在しているわけではなく、みな存在の意義と目的があるのです。実は人々はみな法を待っています。非常に多くの学習者が深く感じていると思いますが、つまり一部の人は法に出会ったとき、「私は生涯これを探していました」、または「これこそ私が求めていたものです」と言いました。他の衆生はなぜ現段階に法を得ることができないのでしょうか？ 彼らはこの方面で抑制されているからです。現在彼らが法を得られないのは、一旦彼らが法を得ると、彼ら自身の業力及び彼らが社会において造った様々な複雑な要素といったもの、これら負の一面のものも一緒についてくることによって、法を正すという第一段階のことを難しくしてしまうので、現在法を得させることが出来ません。しかし、法を正し真相を伝えることは皆さんが必ず行なわなければならないことであり、皆さんがそれを行なうことによって、彼らは煉功し、法を勉強しているのであり、深く法に入っていないませんが、既に未来に法を得るための基礎を築いたのであり、故に我々は必ず行なわなければならない。要するに、多くの状況において理由がないということではなく、この世のいかなることもこの大法のためにあって、全ては大法のために起きており、大法のために造成されたのです。私が皆さんに説いた多くの法理、皆さ

んに説いた多くの真の天機は過去において神すら知るものではなく、これらを聞いて彼らはみなはっと悟ったのですが、なぜなら彼らの境地が彼らの更に高い次元、更に遠い昔の歴史時期に対する認識を制限しているからです。というのは、修めた次元の高さによって、その次元の理、その次元の宇宙の真相を悟るからです。ですから、現在のこの世界において、私たちは、他の衆生に対して責任を負わなければならない、他の衆生が将来法を得るために責任を負わなければならない、ほかの衆生が将来法を得ることに對して基礎を築かなければならないのは、彼らが恐らくあなたの体系にいる生命だからです。中国というところで法を伝えるため、また一般の人に法を聞かせないようにするため、歴史上私が見守りつづけてきた多くの人も含む、非常に多くの各世界の王と非常に高い次元の生命が集中的に中国の地で転生するようにしました。もちろん私が見守ってきた人とそうではない人は今日法を得るということについては同じように対処しています。ですから、中国にいる人をもっと救うべきです。天地を覆い隠すかのような邪悪な宣伝の中、それらの人の現れはもはや普通の犯罪に収まらず、一部の人には既に消滅が運命付けられています。その人達がどこから来たのか、どんな縁があるのか、次元がどんなに高かったのかにもかかわらず、一つの生命に関して言えば、とても惜しいことではありませんか。仕方がありません。師父が慈悲深くないということではなく、法を正す過程で異なる次元の生命はみな位置を決め直しており、慈悲深いか或いはそうでないか、人を済度するのか或いはしないのかという問題ではありません。一つの生命はその心性の高さによって位置が決められています、これは基準であり、法理であり、未来のために定めたのであって、打ち破ってはならず、恣意的に破壊してはいけません。

真相を伝えている中で、海外の大法弟子が行なった全て、現れた全ては同様に素晴らしいのであって、偉大な壮挙です。修煉の次元と圓滿成就に向かうということに関して、皆さんと国内の学習者にはいかなる差異もなく、あなたがここで法を得て修煉するように按排しているのです。非常に多くの弟子が非常に高い学歴を持っており、海外の弟子にあっては高学歴の人が絶対多数を占めています。なぜでしょうか？ この肝要な時期に常人の中で身につけた知識を十分發揮させ、大法が昔世の人々のために造成した常人の技能を利用して法を実証させるためです。その実践において、皆さんは非常によく行ないました。私が明慧ネット、新生ネット及びほかのところで掲載された大法弟子の文章を読んでもみると、中に傑作とも言える文章があり、しっかりした論理と論拠があつて、思考も明晰であり、論理性も高く、本当に邪を鎮める作用があり、しかも非常にレベルが高いのです。現在の判断基準で量ると、私は中国大陸の

それらの誹謗中傷を散布するマスコミはレベルが低いと思います。「政府には既に有能な者がいなくなった」と言う学習者がいますが、確かにそうだと思います。邪悪なデマや、悪質な誹謗中傷のために力を尽くす有能な者はいるのでしょうか？ 皆さんは大法弟子として行なうべきことを十分に現しており、これは皆さんの責任であり、法を正す時期の大法弟子として行なうべきことであり、しかも皆さんも非常に良く行なっています。国内の学習者が魔難に遭い、迫害に耐えているという苦しい状況の下で衆生に真相を伝えていますが、これは大覚者が誕生する前の壮挙なのです。時に正見ネットを見ていると、新しい生命、新しい人類が確かに現在から始まっていると感じます。なぜならば、皆さんの認識は既に新しい歴史時期における、最も正しい生命としての認識に突入したからです。大法弟子は人類のために未来を築いています。

大法弟子が迫害されている中に非常に邪悪な要素があり、つまり旧勢力なのですが、彼らは学習者が圓滿成就し、法を正す弟子になることに対して非常に不平に思っており、自分は法を正す弟子になることができないのに、大法の学習者はこの全てをあまりに簡単に手に入れたのだと思っており、このため彼らは邪悪を操り、悪人を利用して学習者を殴り、「修煉をやめる」と言うまで学習者を殴りました。これは邪悪ではありませんか？ 神としてこのようなことをしていいのでしょうか？ 宇宙は法を正す中にあって、淘汰される各次元の生命の数は非常に大きいものです。圓滿成就する人の数は、まだまだ足りないと思います。元々私は最低五千万人と予定しましたが、これはいままで皆さんに話したことの無いことです。（拍手） いまはこの数字に到達することができませんが、数は既に相当多いのです。いずれにせよ、一人の修煉者として、どんなことを聞いたとしても、歓喜心を起こさないでください。師父がこの話をする事自体が皆さんにとって試練かもしれません。いかなる心も放棄し、何も考えず、ただ大法弟子として行なうべき全てを行なえば、全ては既にその中にあります。邪悪がいくら悪辣であっても、いまは既に万策が尽きてしまっており、ただ大法に対する誹謗中傷はますますエスカレートし、絶えず世論を起こしてデマを造っているだけです。異常な心理に動かされ、ひたすら学習者に懺悔書や署名をさせています。彼らもそれが偽りのものであり、人の心を変えることなどできないと分かっているのに、なぜどうしてもそうしなければならないのでしょうか？ なぜどうしても署名させなければならないのでしょうか？ なぜどうしても修煉をやめると言わせて、そうしてはじめて人を釈放するのでしょうか？ 修煉するといえば服役させますが、修煉をやめると言えばすぐ釈放します。この二者の差異もあまりに大きいではありませんか？ これは正常でしょうか？ 正常ではありません。これで明らかになったので

はありませんか？ すなわち、あなたを落とし、あなたに修煉をやめると言わせています。言ってしまうと、たとえそれが不本意であっても、汚点となり、大法弟子としてこれは恥です。もし大法を損なうようなことをして、これから法を正す過程で真にこの全てを補えず、大法にもたらした損失を挽回できなければ、それでは本当に大変なことになります。できるかどうかは一念にかかっており、表に出て法を実証することができるかどうかということは、多勢の勢いに乗ればできるということではありません。天安門広場で待って、他の人達が出てきたら私も出ようと思いましたが、大勢の人が出てこなかったのを見て天安門広場を一回りして帰ってしまった人がいます。他の人達が出てきたときにその勢いに乗じてあなたも出てきたということは、あなたが生死という心を放棄することにより出てきたということではありません。修煉は個人のことであり、皆で一緒にするものではなく、各自の向上は必ずしっかりとしたものでなければなりません。もちろん、海外の学習者は必ずしも天安門広場に行く必要があるとは限りません。もし皆天安門広場に行ってしまうと、海外で法を正すことをする人はいなくなり、これは全て歴史上の按排です。

皆さんは一つの全体をなしており、まさに先生の功のようです。もちろん皆さんは功とは別のことですが、ただ喩えに使っているだけです。まさに私の功のように、同時に各種の事を行なっています。歴大な宇宙で絶えず巨大な勢いでマイクロへ、更に高い更に広いところへと突進している功もありますが、その勢いは非常に壮絶なもので、速度は非常に速いもので、全ての時間を超越して大穹を正しています。またこの勢いが過ぎ去ってから、異なる次元の生命の罪業を滅し、生命の各次元で絡み合っている複雑な関係の均衡を保っている功もあり、生命を同化させる功、生命の位置を配置しなおしている功もあり、さらには生命の最もミクロ的なところや、各次元においてみなそれぞれ違う事を行なっている功もあり、次元の低い空間で仕事を行なっている功、学習者を保護する功、邪悪を根絶する功もあり、各方面の功はみなこのように行なっています。つまり一つの全体として皆同じことをやらなければならないということではありません。しかしどんな事を行なうにしても、大法弟子という称号に相応しいものでなければなりません。

今日はここまでにします。皆さんが体験を語ることも非常に重要なことです。いかなる環境においても、いかなる時期においても、仕事がいくら忙しくても法の勉強をおろそかにしてはならず、これは皆さんが向上し、圓滿成就するための最も根本的な保障です。法を勉強せずに大法の事をしてはならず、それでは常人が大法の仕事を

していることになってしまい、大法の仕事は必ず大法弟子がしなければならないものなので、皆さんに対してこのように要求しています。常人が大法の仕事を手伝ってくれば、それはもちろん良いことですが、私がここで指しているのは大法弟子のことで、必ず大法弟子によって大法の仕事をしなければならず、なぜならば、皆さんの圓滿成就は主要なことであり、現在の皆さんにとっては皆さんの圓滿成就こそが何より重要なことだからです。もちろん皆さんの圓滿成就には、皆さんが大法のために責任を負うことや、衆生を普く済度することも含まれています。皆さんに教えますが、皆さんは師父が衆生を普く済度しているのだと言っていますが、皆さんが圓滿成就してから振り返ってみると、当時皆さんが済度した衆生が見えてきます。真相を伝えている過程で、皆さんは即ち衆生を済度しているのです。

今日はこれぐらいにしておきます。どうぞ交流会を続けてください。